

一般社団法人G-motty

# G空間サミット2025

開催日時	： 2025年12月12日(金) 13:00～17:30
会場	： 北九州市立商工貿易会館 2F 多目的ホール
参加費	： 無料
主催	： 一般社団法人G-motty
共催	： 北九州市

このたび、G空間サミット2025を開催する運びとなりましたことを、心より御礼申し上げます。

昨年度のG空間サミットでは、2024年1月1日に発生した能登半島地震を受け、本件地震災害の対応等に携わった方々を一堂にお招きし、講演を行っていただきました。

本年度は、地震発生後から現在までの現地の動向に加え、この約2年間で起きた変化や、新たに発生した課題等について「国・学術機関・自治体」がどのように対応しているのかをお話ししていく予定です。

セミナー後半では、毎回事後アンケートで高評価を頂いております「自治体におけるGIS利活用事例」について、担当者に導入の動機、課題、効果などをお話ししていただきます。

また、今回は、西南女学院大学生による「地域プロジェクト講座」の成果発表を予定しております。Catsジャパン様の「ちずあそび」により、学生自身の足でまちを歩いて発見した「探さないと気付かなかったまちの魅力」について調査した内容を報告していただきます。

皆様ふるっての参加をお願いいたします。

## ■ 申込方法

下記URLより前日までに事前申し込みをお願いいたします

※URL:<https://arcg.is/1um1ja>

スマートフォンをご利用の方は右記QRコードからも  
お申込みいただけます



主催:一般社団法人G-motty(TEL092-409-6546)  
共催:北九州市(政策局DX・AI戦略室 TEL093-582-2145)

プログラムは裏面へ→



(敬称略)

時間	内容	講演者
13:00～13:05	開催挨拶	北九州市 DX・AI戦略室長 徳永 篤司
13:05～13:35	能登半島地震後の輪島市の災害対応におけるGISを活用した新たな取り組みの検証	兵庫県立大学院 減災復興政策研究科教授 浦川 豪
13:40～14:10	能登から繋げる災害時の地理空間データ活用	国立 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 折橋祐希・倉本 啓之
14:15～14:40	kintone連携による給付金・罹災証明発行について(仮題)	公益財団法人北九州産業学術推進機構 ロボット産業推進課長 塩田 淳
14:45～15:05	kintoneとGIS連携について(仮題)	(株)インフォメックス
15:05～15:20	休憩	ブレークタイム(システム展示)
15:20～15:50	GISを活用した新たな地域活性化の可能性について	西南女学院大学生×一社)Catsジャパン
15:55～16:20	有事のGIS活用～寒波による水道漏水	香春町
16:25～16:55	GISのトレンドと行政における最新利活用事例	ESRIジャパン(株)
17:00～17:30	公共施設マネジメントにおける政策判断支援	一社)G-matty

※プログラムにつきましては都合により変更される場合がありますので予めご了承ください。

G空間サミット2025では新たな試みとして、昨年のアンケートにおいて要望の多かった「システム展示」の実施を予定しております。講演だけでは実際にGISを利用するイメージが湧かない・実際のレイヤー構成やUI等がどのようになっているのかを見てみたい等のご要望に、少しでもお応えできればと考えております。

**主催:一般社団法人G-matty (TEL092-409-6546)**  
**共催:北九州市 (政策局DX・AI戦略室 TEL093-582-2145)**